Chrome Net-Internalsを使用してブロックされるドメインまたはリソースのトラブルシューティング

内容

[はじめに](#)

[概要](#)

はじめに

このドキュメントでは、Chrome Net-Internalsを使用してブロックされているドメインまたはリソースをトラブルシューティングする方法について説明します。

概要

ドメインがUmbrellaによってブロックされることがありますが、ブロックされたドメインとその理由が不明です。ブロックされたドメインがセカンダリドメインの問題を引き起こしている可能性があります。これは、Webサイトが複数の埋め込みを使用している場合に発生することがあります。

ブロックが他の問題を引き起こしている可能性があるため、ブロックされたドメインを特定するために、Google Chromeには組み込みのツールがあり、照会されているドメインのリストと、解決しようとしているIPを確認できます。特にUmbrellaの許可リストまたはブロックリストに情報を追加したい場合は、その情報を取得するのが非常に便利です。

Google Chromeを使用する場合は、次の手順を実行してこの情報を検索できます。

- 1) Google Chromeを開きます
- 2) アドレスバーに「chrome://net-internals」と入力し、Enterキーを押します
- 3) 次のページが表示されます。
- 4) exportドロップダウンメニューをクリックして、DNSオプションを選択します
- 5) エントリの多いテーブルと、「Clear Host Cache」オプションが表示されます。このオプションはキャッシュをリセットします（新しいデータを取得していることをテストして確認するのに便利です。また、探しているレコードを見つけやすいよりクリーンな状態を確認するのに便利です）
- 6) この場合、ドメインexample.comを使用しているため、解決されるIPを確認できます。

上記の例では、example.comが204.194.239.143（Umbrellaに属するIP）に解決されており、リダイレクトまたはブロックされていることを示しています。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。